

PRIMERGY RX1440 M2/RX2450 M2

ご使用上の留意・注意事項

PRIMERGY RX1440 M2/RX2450 M2 に関して、留意・注意事項がございます。
製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

本文中の OS 名称は、次のように略して表記します。

OS 名	略称	
Windows Server® 2022	Windows2022	Windows
Red Hat Enterprise Linux® 9.0	RHEL9.0	RHEL
Red Hat Enterprise Linux® 8.6	RHEL8.6	RHEL
SUSE® Linux Enterprise Server 15 Service Pack 4	SLES15SP4	SLES
VMware vSphere® ESXi 8.0	VMWare 8	VMWare
VMware vSphere® ESXi 7.0 Update3	VMWare 7.0	VMWare

本文中の用語は、次のように略して表記します。

用語	略称
System Event Log	SEL
ServerView Installation Manager	SVIM

【制限事項】

RX1440 M2/RX2450 M2 の記載がない場合には、全装置に対する制限事項となります。

1. BIOS パスワードの最短文字数について

BIOS 仕様で BIOS のパスワード長は 8-32 文字と定義していますが、8 文字(最短)のパスワードはご利用できません。

BIOS パスワード設定時には、9-32 文字でご利用ください。

※本制限は、BIOS R1.5.0 以降で解除されています。

※本制限は第 4 世代 AMD EPYC™ CPU(9004 シリーズ)が搭載されている場合に発生する問題です。

第 5 世代 AMD EPYC™ CPU (9005 シリーズ)が搭載されている場合は発生しません。

2. Temperature Sensors の Fail Reaction の設定について

iRMC Web インターフェースの「System>Cooling>Temperature Sensors」で、以下の温度センサの Fail Reaction として Shutdown を設定することはできません。

OCP NetCore, OCP NetPort, GPU, NetCore, NetPort, PSU Inlet, PSU, FBU, RAID Controller, Expander, HDD, SAS_SATA_SSD, PCIeSSD, M2 SSD PDUAL, M2 PCIeSSD, PCIe Switch, PVDD_xxxOS

温度異常は SEL で検出できるので、Shutdown のアクションは Redfish/iRMC Web インターフェースで実行してください。

3. OS に ASPEED driver をインストールしたときのマウスカーソル表示について

OS に ASPEED Graphics Driver がインストールされている場合、AVR 画面にはサーバの OS のマウスカーソルは表示されません。

iRMC Web インターフェースの「Settings>Services>Advanced Video Redirection (AVR)>Default Mouse Mode」はデフォルトの“Absolute mouse mode”でご使用されると、AVR 画面に iRMC Web インターフェース操作端末のマウスカーソルは表示されます。“Other mouse mode”に設定を変更すると iRMC Web インターフェース操作端末のマウスカーソルも表示されません。

※本制限は、iRMC 2.43b 以降で解除されています。

4. iRMC Web インターフェースの PCIe NetCore での I350-T4 カードの温度非表示について

システムの PCIe スロットに I350-T4 カード [PY-LA264/PYBLA264/PYBLA264L]を搭載すると、iRMC Web インターフェースの「System>Cooling>Temperature Sensors」に NetCore 温度が表示されない場合があります。I350-T4 カードは熱量が高いコンポーネントではないため、システムへの影響はありません。

5. ドライバモニタで PCIe スロット位置の誤表示について (RX2450 M2)

RX2450M2 システムにおいて Slot2 または Slot8 に Riser モジュールを搭載している場合、

iRMC のドライバモニタ画面および SEL にて、Slot3 に搭載されているカードの搭載位置が Slot2 と表示され、Slot9 に搭載されているカードの搭載位置が Slot8 と表示されます。

ドライバモニタ画面および SEL にて搭載位置を確認する際には、PCIe スロット番号を読み替えてください。

表示 読み替え後

slot#2 slot#3

slot#8 slot#9

※本制限は、ServerView Agentless Services V10.80 for Windows/V10.80 for Linux 以降で解除されています。

6. Micron NVMe M.2 を搭載している場合の SVIM 上での表示について

Micron NVMe M.2 [PY-BS48PEA/PYBBS48PEA, PY-BS96PEA/PYBBS96PEA]を搭載している場合、SVIM

上で M.2 の容量が 0GB と表示され、SVIM のクイックモードでの OS インストールができません。
Micron NVMe M.2 を搭載し、SVIM を使用して OS のインストールの際には guide mode をご使用ください。

7. SVIM V14.23.12 を使用した Windows Server インストール時の VGA 上のマウスカーソル表示について

Windows Server を SVIM V14.23.12 を使用してインストール時に、インストールした Windows Server 上でマウスカーソルが正常に表示されずに四角に表示されます。

Windows Server インストール後に以下のサイトから 1.15 以降のバージョンの ASPEED Graphics Windows WDDM Driver をダウンロードしてインストールしてください。もしくは SVIM(v15.2)以上をご使用ください。

<https://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

※本制限は、SVIM V15.24.03 以降で解除されています。

8. SVIM V14.23.12 を使用した Windows Server インストール時に Advanced Video Redirection(AVR)上のマウスカーソル表示について

SVIM V14.23.12 を使用して Windows Server をインストールすると、Advanced Video Redirection(AVR)上でマウスカーソルが表示されません。

Windows Server インストール後に以下のサイトから 1.15 以降のバージョンの ASPEED Graphics Windows WDDM Driver をダウンロードしてインストールをしてください。もしくは SVIM(v15.2)以上をご使用ください。

<https://support.ts.fujitsu.com/IndexDownload.asp>

※本制限は、SVIM V15.24.03 以降で解除されています。

9. BIOS メニュー上での CPU 周波数の表示について

BIOS メニューの SystemInformation 内にある Processor Speed の表示が、本来カタログに記載の CPU の周波数が表示されるべきところ、CPU の現在の動作周波数が表示されます。

カタログに記載の CPU の周波数は、iRMC Web インターフェースの System>System Board>CPU の詳細表示画面でご確認ください。

※本制限は、BIOS R1.5.0 以降で解除されています。

※本制限は第 4 世代 AMD EPYC™ CPU(9004 シリーズ)が搭載されている場合に発生する問題です。

第 5 世代 AMD EPYC™ CPU (9005 シリーズ)が搭載されている場合は発生しません。

10. VMware 使用時の onboard NVMe SSD の hot plug 機能について (RX1440 M2)

VMware の OS 配下で onboard NVMe SSD に hot plug 機能を使用した場合、hot plug で取り外した古い NVMe SSD の情報が装置の DC off/on を実施するまで残り、新しく搭載した NVMe デバイスが認識されません。

Vmware 使用時に onboard NVMe SSD の交換の際には、hot plug 機能を使用せずに OS を shutdown して DC off 後に onboard NVMe SSD を交換してください。

【留意事項】

RX1440 M2/RX2450 M2 の記載がない場合には、全装置に対する制限事項となります。

11. BIOS の Determinism Slider を Performance 設定にした時の消費電力の閾値超えについて

BIOS メニューの「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Performance"が選択されている場合、CPU は性能を優先するため消費電力が iRMC Web インターフェースの「Settings>Power Management>Power Consumption Control」で設定したしきい値を超える可能性があります。

BIOS メニューの「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Performance"を選択する場合には、iRMC Web インターフェースの「Settings>Power Management>Power Consumption Control>Action Reaching Power Limit」で"Graceful Power Off"や"Immediate Power Off"を同時に設定することを推奨します。

iRMC の Power Consumption Control で設定した閾値で消費電力を抑えるには、BIOS メニューにて「Advanced>CPU Configuration>Determinism Slider」で"Power"を選択してください。

12. NMI ボタンを押下した後の SEL 出力について

NMI ボタンを押下した後に以下の SEL が出力される場合があります。

機能に影響はありませんので、そのままご使用ください。

```
Generic IPMI event: GenId 'SMS', SensorType '0x30', EventType '6F', SensorName "", EventData:  
01 FF FF
```

13. M.2 SATA SSD のスロット番号が表示されない

オンボード SATA コントローラに M.2 SATA SSD が接続されている場合、iRMC Web インターフェースにてストレージデバイスのスロット番号が表示されません。

これは、コントローラのドライバから情報を取得できないためです。

iRMC Web インターフェースに表示されるシリアル番号情報からデバイスの特定を行ってください。

14. Secure Boot の仕様による UEFI ドライバのロードと OS 起動について

“Secure Boot Control”を Enabled に、かつ“MS UEFI CA key”を Disabled にした場合、(PCI アダプターの)UEFI ドライバのロードと Windows Server 以外の OS 起動が抑止されます。これは Secure Boot の仕様によるものです。UEFI Driver を有効にする場合、“MS UEFI CA key”を“Enabled”もしくは“Disabled after BDS”に設定ください。

Windows Server 以外の OS 起動をする場合は“MS UEFI CA key”を“Enabled”に設定ください。なお、“MS UEFI CA key”の初期値は“Disabled after BDS”です。

15. iRMC Web インターフェースで[Shared LAN]を選択し、iRMC を再起動したときの管理 LAN の LED 表示について

iRMC Web インターフェースの [Settings] > [Network Management] > [Network Interface] > [Network Port] で [Shared LAN] を選択すると、管理 LAN の LED は消灯します。この状態で iRMC を再起動すると、管理 LAN ポートにネットワークトラフィックはありませんが、管理 LAN の LED が再び点灯します。一旦管理 LAN の LED が点灯した状態になると、LED を消灯する方法はございませんが機能影響はありませんので無視して下さい。

16. NVMe ドライブをホットプラグで交換後、新しく搭載した NVMe ドライブの位置 LED の動作について (RX2450 M2)

スロットの NVMe ドライブをホットプラグで取り外した後、新しく搭載した NVMe ドライブの位置 LED が動作しません。NVMe ドライブの位置は iRMC Web インターフェースのロケーション LED で確認してください。

17. BIOS セットアップメニューが表示されているときに iRMC を再起動した際の iRMC Web インターフェースでの大容量ストレージ情報表示について

BIOS Setup メニューの表示中は、iRMC をリブートしないでください。大容量記憶域情報が表示されなくなります。大容量記憶域情報が表示されなくなった場合には、iRMC Web インターフェースの電源ボタンのパワーサイクル(シャットダウン後の電源オン)で回復できます。

— 以上 —